

57 「千葉県を歩く4 銚子へ」

これまで、房総半島南部徒歩縦断－1（市原～鴨川）、房総半島中央部徒歩横断（市原～九十九里海岸）、房総半島南部徒歩縦断－2（市原～勝浦）の3回、内房から外房まで歩いた。

ここまで来ると、次は銚子まで歩きたいと思うようになった。銚子までの距離は約100kmなので、これまでの実績から6回に分ければ歩けることになり、次のように計画を立てた。

1回目：青葉台	→	潤井戸[市原市]	(約17.5km)
2回目：潤井戸	→	大網	(約17.0km)
3回目：大網	→	成東	(約16.5km)
4回目：成東	→	八日市場	(約17.0km)
5回目：八日市場	→	倉橋	(約16.0km)
6回目：倉橋	→	銚子	(約15.0km)

6回目が終わったら、オプションで犬吠埼を一周しようと思っている。

■4月27日（日） ①青葉台→潤井戸

銚子を目指して第一日目のスタート。10時05分に青葉台の家を出た。しばしば通っている青葉台1丁目の池の水がほとんど干上がっていて、カメが水面から頭を出していた。あと数日雨が降らなければ全く水がなくなってしまう。

町田の柳原橋で養老川を渡り、1時間歩いたところのセブンイレブン上総村上店で休憩。ペットボトルの水を飲む。

11時20分市原市役所／市原市民会館ホールを通り過ぎる。昨日ゴールデンボンバーの市原公演に来た時は車で10分だったところを、今日は1時間15分かけて歩いたわけだ。



菜の花満開



市原市役所

国分寺通りを抜け、国道297号から市原市郡本2丁目交差点で県道21号に入り西の方向に歩く。しばらく行くと能満地区に入り、スーパーマーケットエイやミヤマなどのショッピングゾーンを過ぎると閑散とした地域に入った。

さらに行くと辰巳台東5丁目、この辺りは以前車で通った記憶がある。

歩いている道路は路線バスが通っていて、時々バス停があった。間もなく神崎の交差点に着き、ここから目的地まではあと2～3kmだ。バス停で運行時刻を見ると、バスは日に数本しか通ってなくて不安になった。神崎交差点を過ぎ潤井戸方面を目指すのが、バス停が見つからなくなった。どうやらバス

路線から外れてしまったようだ。

目的の潤井戸地区に入り、あとはバスで帰って来ればよいと考えていたが、まず本数が少ないことと特に日曜日は全面運休が多いことに焦った。日曜日の運行本数がこれほどまでに少ないとは思ってもいなかった。バス会社からすれば乗客の少ない日曜日は運休も当然なのだ。

ここまで既に15 kmほどを歩き、疲れが出てきたところである。これは下手するとバスでJR八幡宿駅または浜野駅まで戻れない可能性があると思い始めた時、「神崎入口」というバス停を見つけた。このバス停からは浜野駅東口、塩田営業所、ちはら台駅行きが出ている。平日なら塩田営業所行きはこの時点で5分後の13:30分発があるが、土日は14:25分発で1時間後である。それ以外の方面は便数が少なくて全くだめなのだ。何もないところで1時間も待つのはいやなので、神崎入口から浜野方面に向けて歩くことにした。

1 kmほど歩くと草刈地区に入り、五さ路があり「房の駅」



草刈地区「五さ路」

歩き始めてみるといくら歩いてもバス停は遠く、、、いや実はこの道路にはバス停はなかったのだ。

バスの時刻は迫ってくるし、最後はバス停が見えるまで足の痛さを堪えて走った。しかし、バス路線は五さ路からは違う方向だったようだ。結局痛い足を引き摺りながら、古市場町から高速道路の下をくぐりJR浜野駅まで歩いてしまった。古市場あたりにくるとマメが痛くてもう限界、これまでで最も辛い歩きになった。

ちょっとした判断ミスで「神崎入口」から6 kmも余計に歩く羽目になってしまった。なぜあの時戻らなかったのか、本当に悔やまれる。

家に着いて靴下を脱ぐと、右足に4つ左足に2つ大きな血マメができていた。靴の大きさ、靴下の選び方、靴紐を結ぶ強さなど、長距離を歩くときはもっと足元に注意を払わなければいけないと実感した。

今日は目的地まで16 km、それ以外に6 km、合計22 kmも歩いて疲労困憊した。これを考えると、陸上競技の50 km競歩とは一体どれほど過酷なのだろう？想像もできない。

(2014.04.27)



神崎川改修竣工記念碑

が見つかった。時刻は13:40分、この辺りまで来ると足にはマメができて痛い。

房の駅の少し手前にバス停があり、塩田営業所行きが14:28分にあることを確認した。

房の駅で一休みして昼食をとり14:20分スタート。ここで、さっきのバス停に戻れば良かったのだが、次のバス停まで歩こうと思ったのが間違いだった。

次のバス停はそれほど遠くなく、せいぜい5分ほど歩けばたどり着けると思っていた。しかし、いざ

■ 5月14日（水） ②潤井戸→大網

J Rとバスを乗り継いで前回の終了地点「神崎入口」に着いた。J R浜野駅東口でバスに乗り20分だった。今日はJ R大網駅まで約17 kmを歩くつもりだ。

10時15分、県道21号を東に向けて歩き始める。今日は出発直後から少し体が重い感じで本調子でない。もしかしたら途中でリタイアすることになるかも知れない。



県道21号を本納方向へ

緑が広がっていた。

10時45分永吉地区に入る。永吉の交差点で県道130号（菅田潤井戸線）に入り、J R外房線菅田駅を目指す。しばらく行くと市東第一小学校の前



県道130号への分岐

駅前の県道20号（大網街道）を右に曲がりJ R外房線に沿って進む。J Rに沿って歩けば、途中歩けなくなっても何とかなる安心感がある。

次の土気駅まではかなりの距離で、地図で見るとざっと5 kmはあるだろう。

立体交差でJ Rの線路を2度も越えた。交通量が多く、気休め程度の歩道しかない立体交差の道路に行くのは神経を使う。

12時40分大木戸新田交差点、越智天満宮入口を通過、この辺りまで来るとかなり疲れが出て来た。

10時30分頃、市原市市津支所を通る。この辺りは水田が多く、植えられて間もない若々しい苗の



苗を植えたばかりの水田

を通る。生徒たちがヨサコイソーラン踊りの練習をしていた。何となく掛け声に元気がなかったようだ。

11時15分瀬又十字路のコンビニで5分ほど休憩、水分を補給する。

今日は日差しが強く蒸し暑いので汗がどんどん出てくる。瀬又地区を抜けて少し行くと萩の台団の入り口がある。ここから潤井戸に通じるバス路線は千葉中央バスの路線だった。

畑の中に徐々に人家が増え、11時45分千葉市に入るとすぐにJ R菅田駅に着いた。



J R菅田駅



大網街道あすみが丘付近

うだ。土気駅から徒歩圏内の道路沿いでは、一戸建て住宅の工事が進んでいた。

さらに行くくと日蓮宗西谷寺があり、「昭和の森」の入り口が見えて来た。

交差点で「ホキ美術館」の案内看板を偶然見つけた。ホキ美術館は、奇抜な外観をした建物で日本建築大賞を受賞している。一度見たいと思っていたが、偶然発見できてうれしかった。いずれ日を改めて見



JR大網駅

復し、何とか目的地までの17kmを歩くことができた。適切な休憩を取ることが如何に大切かを再認識した。(2014.05.14)

両足の付け根と太ももが重く足が充分上がらない。とにかくあと1km土気駅まで頑張って歩き、昼食を食べながら休憩しよう。その後のことはそれから考えればよい。

12時55分あすみが丘で昼食。出されたお茶を立て続けに2杯飲んだ。両足をリラックスさせ、食事しながら30分休憩したことで思いの外回復した。ここから大網までの約3km何とか歩けそ



「昭和の森」入り口

に来よう。

ここから大網駅はもうすぐだと思っていたが、結構距離があった。それと交通量が多く、道路幅が狭いため歩道がなく、しかもカーブが多く見通しが悪いので歩いていて怖かった。

14時15分大網白里町に入る。足はかなり疲れていたが、最後は気力で歩きとおし、14時35分にJR大網駅に着いた。

今日は最初から体が重く感じ、土気駅より先が危ぶまれたが、昼食を兼ねて30分休憩することで回

■ 5月31日（土） ③大網→成東

最近徐々に気温が上がり、初夏を思わせる陽気になってきた。しばらくすると梅雨に入るので、その前にできるだけ歩いて銚子に近づいておきたい。

今日の最高気温は30℃になるという予想で暑くなることは覚悟で出掛けることにした。

JR大網駅を10時10分にスタート。すでに気温はかなり上がっている。

ところどころ古い建物が残る大網の街を抜け、30分歩くと国道128号に入った。

交通量が多いが、右か左どちらかに歩道があるので安心して歩ける。

この辺りは水田の緑が一面に広がり目に爽やかだ。既に汗が止まらないほどだが、時々来る風は涼



国道128号と合流する辺りに広がる水田

今回は田舎道ではないので、道に迷う不安はないが単調だ。

11時15分、国道126号との立体交差のポイントに着いた。ここを右折し大きく迂回して成東に至る道路が東金バイパスだ。

歩きの私はそのまま直進する。バイパスのお陰で交通量は少ないが、東金中心部に近づくと徐々



JR東金駅入口（国道側）



歴史を感じさせる建物（大網市内）

しくホッとす。直射日光は暑いはまだ空気は爽やかだ。

128号をしばらく歩くと東金市に入った。

11時、福俵のセブンイレブンで早めに水分を補給。



東金市に入る（国道128号）

に車が増え大きな建物が見えて来た。

JR東金駅には11時45分に着いた。跨線橋を渡り駅の正面側に出たが、駅前商店街はさびれて昼食を食べる適当な店はなかった。

そのまま国道126号に入り、しばらく進んだところで見つけた中華料理店で昼食。コップ2杯の水がスッと入っていく。

12時30分午後のスタート。すぐに田間地区に入った。歩いていると田間地区整備事業組合が



山武市に入る

成東の中心街に入ると、作田川にかかる橋の欄干に「上総道学発祥の地」の碑、そして伊藤左千夫の、

童への

時覚えねど

岡おへる

日南成東は

春によろしも

という短歌の碑があった。伊藤佐千夫はこの地の出身なのだった。

そこからしばらく歩き、13時50分JR成東駅に着いた。ここが今日の目的地で、銚子までのほぼ中間点ということになる。

今日はさほど足が痛くならずマメもできず、暑い中15kmを最後まで快調に歩くことができた。前回の反省で、靴に注意を払ったのが良かったのだと思う。

(2014.05.31)

あり、ここは市が「まちづくりの計画決定」をした地域だった。すぐに『規模拡大で安定した農業経営を』という看板があったのは、整備事業と何か関係があるのだろうか？

13時10分東金市から山武市に入る。そこから10分ほどで右側遠方にドンキホーテが見えたので、この道路が東金バイパスと間もなく合流することが分かった。左側には県立成東高校が見えた。

成東高校は歴史の古い学校で、二十数年前に甲子園に出場したことで私の記憶に残っている。



橋の欄干に刻まれた伊藤佐千夫の歌

■ 9月15日（月） ④成東→八日市場

前回から3ヶ月半も経ってしまった。今年は梅雨入りが早く、雨を心配しながら歩きたくないし、夏に入ればとても歩く気にはならない。熱中症も心配だ。9月に入ってから局地的に大雨が降ったり、天候が落ち着かなかったが、最近めっきり涼しくなりやっと歩くのにいいシーズンになった。

今日は前回の続き、成東から八日市場までを歩く。成東までは、JR大網駅から東金線経由で来た。

9時半、成東駅をスタート。すぐに国道126号に入る。

今日は太陽が見えたり隠れたり、少し暑いですが空気は爽やかで歩くにはとてもいいコンディションだ。

国道126号は、両側に歩道があり歩きやすい。歩き始めるとすぐに千葉、浜松町方面への高速バス「ちばフラワーバス」の始発駅があった。

10:00 ちばフラワーバスの早船停留所を通過。



JR成東駅

このあたりはイチゴ農園が何軒も続いている。歩いていると民家の庭木からツクツクハウシの鳴き声が聞こえ、夏の終わりを感じる。



いちご農園が多い

境内のイスに座ってしばし休憩。池の鯉がエサをもらえるとあってたくさん寄って来た。

神社は松尾町、横芝光町の境にありすぐに横芝光町に入る。20分ほど歩き国道126号を離れ、JRの線路を渡って横芝駅に行く。

駅前には閑散として、タクシーが2、3台いつ来るか分からない客待ちをしていた。ちょうど12時、駅前を過ぎて少し行ったところにあった昔ながらの食堂で昼食。熱いお茶を一気に2杯飲み喉を潤す。エビフライ定食で栄養をつけ少し休息。

12:30分スタートし、すぐに栗山川を渡る。再び126号に入り、宮川あたりからはしばらくJR線に沿って歩く。ちょうどこの時、銚子行き特急「しおさい」が通過した。このころになると徐々に体全体が疲れて来て、だんだんと歩くのが辛くな

10:10分新田越橋を渡り松尾町に入る。交通量はとても多い。松尾の中心部に入ると歩道が狭くなりとても歩きにくい。10:40分松尾駅前を通過。

国道沿いにガソリンスタンド、大型パチンコ店、食堂などがあったがその多くが廃業している。やはり人口減少の影響だろうか？

成田空港が近いので、歩いていると頻りに離陸直後の上昇中の飛行機が通過する。

11:20分、松尾の八田金刀比羅神社に入り、



八田金刀比羅神社





栗山川

進み方が遅くなってきた。

この辺りを歩いていると、国道沿いにあるパチンコ店がことごとく廃業しているのを目撃する。

さらに進むと徐々に建物が増え八日市場の中心部に入った。私の中では八日市場市が記憶にあったが今は匝瑳市になっている。

数年前に八日市場市と匝瑳郡の一部が合併して匝瑳市になっていたのだった。いずれにせよ匝瑳市の中心部は八日市場で、中心部はかなり広いエリアにわたっている。

目的地まであと1 kmほどに近づいて、右足にマメができたのが明らかになったがあとは気力で歩く。道路の表示板に「八日市場駅」の文字を見つけた時は本当に嬉しかった。あと数百メートル歩けばいい。

14:00ちょうどにJR八日市場駅に着いた。今日歩いた距離は16 kmだった。

銚子まで30 kmの地点なのであと2回で銚子に到達する。後半暑かったせいか少しスピードが鈍って、16 km歩くのに4時間弱かかった。

ここまで来ると、列車に乗っても家まで帰るのに結構時間がかかる。

八日市場から今日の始発点成東までは4駅20分、たったこれだけの距離を歩くのに4時間近くもかかったのだった。成東からは総武本線経由と東金線経由の2通りのルートがあるが、接続時間の関係で東金線経由で帰って来た。

帰りは本当に疲れていたが、達成できた満足感で満たされていた。

(2014.09.15)

ってきた。

13:05分匝瑳市に入った。銚子まであと34 km位の地点だ。13:20分飯倉駅を通過しあと一駅の距離となった。足全体が重く歩幅が短くなり、



匝瑳市に入る



八日市場駅前

■ 9月27日（土） ⑤八日市場→倉橋

天気予報をみて今日行くことにした。前回到達点の八日市場までは総武本線で1時間半ほどかかり、9時45分着。予報で晴天を予想していたが、着いたら曇っていた。風も強く半袖では少し寒いくらい、天気が少し心配だ。雨にならないでほしい。

9時50分、八日市場駅をスタート。国道126号を歩き始める。

強い向かい風だ。歩いていると「植木の町」八日市場と掲げてあった。歩き始めてしばらくすると、雲間から太陽が覗き始めその後予報通り晴天になった。気温が少し上がり風が爽やかに感じられる。10分ほどで八日市場の中心部を抜ける。

10時半、千葉県東部中央市場を通過。かなり大きな市場だが、今日は土曜日で閑散としていた。



千葉県東部中央市場

10時20分、明治川に架かる「あさひ橋」を渡り旭市に入る。旭市は「花と野菜と肉の町」とあり、随分欲張っているなあと思った。

すぐに、鎌数伊勢大神宮があったが、先を急ぐので入口の鳥居をみただけで通り過ぎる。



鎌数伊勢大神宮

スタンドでは母親たちが声援を送っている。みんな真剣だ。選手の態度はとても礼儀正しく、野球も武道と同じように礼儀優先で教えていることを感じた。この中から高校に進み、ずれは甲子園に出場する選手が出てくるのだろう。

試合は4回まで0-0、5回表海上中が2アウト2、3塁のチャンスを迎えた。このチャンスに8番

このあたり国道126号線は交通量が多い。

10時50分JR千潟駅に到着、駅のベンチで5分間休憩。幹線道路を歩いていると、車ディーラーや見覚えのある全国チェーンの店舗がとても多い。

ここ数年で全国どの都市に行っても、ほとんど同じようなチェーン店が並び、各地方都市の特徴がなくなっている。全国展開している企業は店舗や建物を標準化しているので、都市の景色が画一化してしまった。



明治川

しばらく行くと国道沿いに野球場があった。厚生年金・国民年金積立金融資で造られた施設でナイター設備もある。入ると試合をやっていたので、休憩を兼ねてしばらく見学することにした。

試合は銚子中と海上中の練習試合だった。中学生は軟式野球である。

バッターが、鋭い当たりで二遊間を抜くヒットを打ち1点先取。本塁に突進してきた2塁ランナーは惜しくもタッチアウト。この時キャッチャーと激突して倒れしばらく動けなかった。

プロ野球ならこの程度のことであり心配しないが、体の固まっていない中学生の場合は、選手への体のケアが最も大切である。審判の処置を見てそんなことを思った。

試合を見ていたらアツという間に30分が過ぎ、いい休憩になった。

12時ちょうどにスタート。

30分歩き旭駅近くの洋食レストランで昼食。

13時25分、国道126号の網戸（あじと）交差点を左折し県道71号に入る。左足親指付け根が少し痛み始めたが、しばらくしたら治まった。



銚子中 VS 海上中



コンビニ敷地内の地蔵が窮屈そう

13時45分JR飯岡駅に着いた。駅に入ってみると市民ギャラリーが併設され、旭市出身の先覚者「瀧川惣助」が紹介されていた。

瀧川惣助は旭市蛇園に生まれた工芸家で、「七宝」の製作に無線七宝という新しい技法を生み出した。

彼の作品はいくつもの国際博覧会で大きな賞賛を得ている。

迎賓館赤坂離宮「花鳥の間」壁面に30面の花鳥七宝額が埋め込まれている。

14時、見広（みひろ）の信号を過ぎたところから上り坂が始まった。丘を登り切ると高台になっていて、今日の目的地JR倉橋駅は近い。分岐路があり直進、偶然「雷神社」を見つけた。

現役時代、雷による電子機器の被害削減のため国際規格導入を積極的に行ってきた繋がりから、少し寄り道になるがめったにないチャンスと参拝する。

雷神社は別雷命（ワケイカツチノミコト）といい、京都の賀茂別雷神社（上賀茂神社）より迎えた大神を祀った神社で、これにより桓武天皇から『雷大神』の称号を与えられた。

雷神社の神々は、「自然を治め、地上に起こる災いを鎮め、人々



旭市出身の偉人「瀧川惣助」

を守護する神」として海上郡十三郷の総鎮守となっている。雷を祀った神社はこの他に、郡山市の東北電力支店脇にあるのを見つけたことがある。

倉橋駅14時57分発に乗りたいので、時間を気にしながら先を急ぐ。

しばらく歩いても駅は見えず不安になり尋ねると、何と！道を間違っていた。私に雷神社を見つけさせるために道を誤らせたのか？

さっきの分岐路は直進でなく右折が正解だったので。雷神社あたりから時間を気にして速足で歩いたので、ふくらはぎがかなり張って来た。

もう一度道を尋ねると、もう少し行き坂をどんどん下れば駅があるという。最後は疲れた足に気合を込めて歩き通し、14時50分に倉橋駅に到着した。



JR倉橋駅



雷神社



御神幸に渡御する大神輿

駅前の自販機で飲み物を買って一気に飲んだら、すぐに上り列車が来た。今日はふくらはぎが痛かったが、幸いマメができず前回よりは楽だった。

これまでいつも足にマメができ、最寄り駅からはバスで帰っていたが、今日は近くのスーパーで買い物をして歩いて家まで帰った。これまでではじめてのことだ。

これで銚子まであと1回分を残すだけとなった。次回はいよいよ最終目的地に到着する。

(2014.09.27)

■ 10月10日（金） ⑥倉橋→銚子

いよいよ銚子までの最終区間を歩く日が来た。このところ週末になると台風が来たりして、この日が来るのが待ち遠しかった。今週末はまた台風19号の上陸が予想されているので、その前に行こうと思いたった。今日はJR倉橋駅から銚子までを歩く。

前回と同じ8時10分発の列車に乗り、倉橋駅には10時05分に着いた。もうJRで2時間近くかかる地点まで歩いている。倉橋駅は無人駅でスイカの読み取り機だけが設置されている。

今日は晴れて爽やか絶好の天気である。

10時10分スタート。この辺りの道路は歩道が全くなく、交通量が比較的多いので注意が必要だ。特に右カーブの場合、林や建物などの障害物があると見通しが悪く、急に車が飛び出して来るので注意しなくてはならない。特にトラックなど大型車が来たときは、逃げ場がないのでとても危険だ。

しばらく歩くと猿田神社があった。時刻は10時35分。まだ先が長いので体力を温存したいところだが、せっかくの神社なので長い階段を上ってお参りした。

JR猿田駅を過ぎてしばらく行くと、大きな風車が見えて来た。なだらかな上り坂で汗が出る。

11時ちょうど、爽やかな風が通り抜ける高台に出た。この辺りは一面の野菜畑である。キャベツや



猿田神社

大根がずっと向うまで行儀よく並んでいる。

ここは、一年を通して発電に適した風が吹き抜ける場所なのだろう。数百メートルの距離を置いて、何台もの大きな風車がゆっくりと回るのどかな景色だ。過疎地帯でコンビニなどの店は全く見当たらない。

猿田駅を過ぎて県道71号から離れ、しばらくJR線に沿って歩き、正明寺町から中島町を通り国道356号の芦崎交差点に抜けるルートを行くつもりだった。しかし、この時点で既に道を間違ってしまった。県道71号をずっと進んでしまっていた。

11時15分、銚子市野尻町の地名表示を見て地図と照合して初めてわかった。これでかなり大回りすることになってしまった。

11時20分、林を抜け下り坂になり視界が開けると、前方遙か彼方に利根川が見えた。利根川の下流はとても幅広い。

なだらかな下り坂を下り、猿田県道踏切でJRの



野菜畑と風車



広大なキャベツ畑

線路を横切ると、県道71号は大きく右に曲がりしばらくして野尻町交差点で国道356号と合流した。時刻は11時40分だった。

ここからはずっと利根川と平行に進むルートとなる。道路幅は広がり、狭いが歩道もあるので安心だ。

徐々に足に疲れがたまり、道を間違えて歩く距離が増えたことで、この先が少し不安になった。

小さな神社の石段に腰かけてしばらく休憩。

食事のできる店を探しながら歩いていくなかなか見つからず、12時15分やっと見つけた芦崎町のラーメン店で昼食。

エネルギーの補給と休憩をとるため、この昼食タイムは非常に大切だ。

12時40分再スタート、休憩で再び元気が出て来た。国道356号はとても交通量が多く、歩道が狭く側溝の上で歩きにくい。13時05分松岸駅前を通過、あと一駅で銚子だ。

さらに歩くと馴染の郊外型の大型店舗が増え、中心街に近づいたことがわかる。

足はかなり疲れていたが先が見え元気が出て、どんどん歩いていくと銚子大橋の交差点に着いた。



13時40分だった。ここを右折すれば銚子駅に着くが、せっかくここまで来たのだから左折して銚子大橋の方向に行ってみる。

銚子大橋は利根川の最も下流に架かる橋で、長さは有に1kmを超える。この橋を渡ると茨城県だ。これまで千葉県内をずいぶん歩いたが、県境までたどり着いたのは初めてのことだ。

素晴らしい眺めに満足して、橋の半分ほどの所までで引き返す。ここから先ほどの銚子大橋の交差点を通過し、最終目的地のJR銚子駅には14時ちょうどに着いた。



せっかく銚子まで行くのだからと、当初は一泊して翌日犬吠埼を一周しようと考えていた。しかし、疲れも溜まっているし明日の天気も今一つなので、



今日このまま犬吠埼の灯台だけ行くことにした。

14時44分発の銚子電鉄に乗って犬吠駅に着く。銚子電鉄に乗るのは初めてだ。

銀座線の古い車両が導入され、車内にまだ銀座線の路線図が残されている。銚子電鉄の路線図はその下に控えめに掲げてあり、意図的に残したものだということがわかる。きっと話題作りのためだろう。

犬吠埼には多分小学校の旅行か何かで来たような記憶がある。遙か昔のことだ。灯台（尻屋崎灯台）に登ると、岩場に砕ける白波、長崎鼻の先端まで延びる海岸線のカーブが美しい。今日は金曜日なので、マリンパークなどレジャー施設は閑散としている。



銚子駅前



君ヶ浜



長崎鼻

「犬吠埼ロカ岬友好記念碑」というのがあった。碑には、

“海終わり 陸始まる犬吠埼 風と光と土と水 引き継ぐものは美しい”

と刻まれている。

ポルトガルのロカ岬には

“地（陸）終わり 海始まる”

と刻まれた碑があり、それに対するものだ。

ユーラシア大陸はポルトガルのロカ岬から始まり、終わりはロシアのチュクチ半島の先端ということになるのだろうが、細かい詮索はなしにしよう。

言ったもの勝ちもありかも知れない。

一通り犬吠埼を見て、銚子電鉄の終点外川駅まで約1kmを歩く。これで今日の歩きも終わり。

疲れはあるが、特に大きな問題もなく歩き通すことができた。

最初は突飛な思い付きだった、銚子までの約100kmを歩く計画を、無事達成できたことが単純に嬉しい。

この6回の歩きを思い返すと大変なことも多かったが、その都度得られた満足感は忘れられない。



犬吠埼ロカ岬友好記念碑

